

2023～2024年度 小倉中央ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう

第1313回 本日の例会 9月25日(月)

本日の卓話

- ・臨時総会
- ・家庭集会報告

例会日 月曜日 12:30～13:30
 例会場 リーガロイヤルホテル小倉
 事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
 TEL 093-531-4015
 FAX 093-531-1022

会長の時間 (9月11日 1312回 例会記録)

梶原会長

出席報告 9月11日

会長の時間の中で“智慧・慈悲のはたらきそのものが「仏」なのです”という言葉を紹介致しました。では智慧・慈悲とは何なのでしょう。私が知る限りの解説をしますと非常に長くなりますので、文字数の許す範囲でお伝えしたいと思います。

まず智慧ですが、我々の使う知恵と何が違うのでしょうか。それは、我々の知恵(知識・常識・情報など)は時代や状況によって移ろってゆくという事です。

例えば

- ・歴史のテストで同じ問題が出ても今と昔で答えが違う。
- ・運動部などで、昔は練習中や試合中は水を飲むと言われていた。
- ・法改正や世論の変化によりコンプライアンスが変わる。

など、正しかった事が間違いになり、間違ったが当たり前になることが多々あります。

仏の智慧とは、世の移り変わりに左右されず、無限の過去(無始)から永遠の未来(無終)にかけて揺るぎない真理のことを言います。

仏教の教えに「諸行無常」「諸法無我」「涅槃寂静」「一切皆苦」と言う真理が説かれています。これを「四法印」と言います。

一つ解説しますと「諸行無常」とは、この世(宇宙の端から端まで)の全ての事柄は絶えず変化しいつか必ず滅びると言う事です。我々の分かる世界で言うと「命あるものは必ず死に、形あるものはいつか壊れる」と言う意味ですが、言葉は理解できても辿り着ける境地ではありません。他自分にとって大切な人が亡くなったり、大事なものを失った時「何で！」とってしまう事からもそれが分かります。

次に慈悲についてお話しします。これは、ただ優しいとか思いやりがあると言う事ではありません。一つ例話を紹介します。

その昔、姥捨て山と呼ばれる山がありました。貧しくて食べる事に困った時、仕方なく老人を山へ捨てると言う事があったそうです。ある時一人の男が母親を姥捨て山に捨てる決心をして、母を背負って山を登っていました。母親はその最中木に手を伸ばし、枝を折っては道に捨てておりました。息子は、これはひょっとしてまた家に帰る為の目印では無いか、と疑っていました。山奥にたどり着き、母に別れを告げて山を下りようとした息子に、母親が声をかけました。「お前が道に迷わんように、枝を折って落としておいたから、それを頼りに帰りなさい。家族を大事に。達者でな。」思えば母は足腰も弱く自力で帰れるはずありません。自らを顧みず自分の事を心配してくれた母親の心に触れ、そんな母親を疑った自分の情けなさに息子は泣き崩れてしまいました。

この母親は息子の苦しみを100%受け止め、その苦しむ息子を案じています。これが優しさや思いやりを超えた慈悲であります。その慈悲心から救わずにはいられないと、道しるべを残しました。これを利他といいます。これも、物語を聞けばなるほどと思うかもしれませんが、辿り着けない境地です。

私たちはお釈迦様の説法によって、本来知る事が出来ない真実真理を知る事が出来ます。

悟る事も無く、この世でああでも無いこうでも無いと苦しむ私に慈悲を傾け、智慧によって迷いの闇を破るはたらき。それが「仏」です。

在籍会員数	43名
義務出席者	40名
ゲスト	1名
ビジター	0名
本日出席数	38名
本日出席率	95.00%
前々回修正出席率	97.67%

次回(10月2日)の例会は、

観月会

時間：18:30～

場所：マリーゴールド門司港迎賓館

9月のお誕生日

- 2日 細川 忠広会員
- 2日 田村 雅史会員
- 20日 溝尻 武則会員

今月の主な予定

- 2日(土) 危機管理セミナー
- 3日(土) RLI 研修
- 4日(月) 定例理事会
- 6日(水) イレブンの会
- 9日(土) R 財団補助金セミナー
- 14日(木) 二水会
- 20日(水) 国際奉仕委員長会議
- 30日(土) IA 校内例会

幹事報告

森本幹事

- ・次週9月18日は、祝日のため休会です。
次回例会は、9月25日(月)です。この日は、臨時総会を行う予定ですので、ご出席の程よろしくお願ひします。
- ・卓話の時間は、家庭集会報告です。報告書の提出も願ひします。
- ・イレブンの会・臨時理事会報告
 - ①ロータリー奉仕デーに関する件
10月21日(土)9:00~10:00 小倉駅南口
各クラブで実施
 - ②IMに関する件
2024年1月20日(土) 松柏園ホテルにて開催
 - ③10月28日 4地区合同事業に関する件
小倉中央RCとして児童養護施設絵のチャリティバザーを開催
イレブンの会でも協力を要請
実行委員として狩野会員と森本幹事が担当

ニコニコ献金報告

累計 156,750円

- 梶原・森本・野村会員—池端様、本日の卓話、よろしくお願ひします。当クラブには、音楽好きが多数在籍していますので楽しみにしています。
- 野村会員—本日、家庭集会です。楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。
- 狩野会員—池端さん、12年ぶりの卓話、よろしくお願ひします。
- 樋上会員—池端さん、ようこそ。今日楽しみにしていました。宜しくお願ひします。
- 家庭集会（樋水班）—楽しい家庭集会でした。少しお釣りが出ましたのでニコニコします。
- 鍋島会員—家庭集会の会場に傘を忘れた野口さんへニコニコします。次回からは忘れないようにちゃんと持って帰って下さい。

合計 8,250円

祝お誕生日祝い—細川忠広会員

先週から第1～第3グループ回りをされていて例会に出席できずすみません。47歳、まだまだ元気よく頑張つて参ります。今後よろしくお願ひ致します。

卓話の時間

「北九州市と音楽」

シンガーソングライター 池端 克章氏

北九州市出身のシンガーソングライターの池端克章と申します。大学を卒業後、北九州市を拠点に12年間音楽活動をしております。

プロの音楽家になりたい！その夢を捨てきれず、大学を卒業後、音楽の道へと足を踏み入れました。両親も周りの友人も皆が反対する中で、それでもチャレンジしたいと、覚悟を決めて大学を卒業しました。

時代の流れと共に、音楽業界も大きく変わり、CDが売れない時代、youtubeの到来、大手事務所が力を失ってきた時代、そんな様々な流れの中で、「北九州市在住で全国的に活動が展開できないだろうか？」そのような考えで、東京ではなく、北九州で活動をスタートしました。

2013年にソレイユホールでデビューコンサートを開催し、その後、阪九フェリーCMソング、関門海峡花火大会公式テーマソングなど、地元の企業やイベントから楽曲の依頼などいただけるようになり、少しずつ音楽で生計が立てられるようになっていきました。

個人での活動の限界を感じ、2017年に法人化。自身がプレイヤー兼事務所代表として、イベントの企画運営にも携わるようになりました。

2019年には、全国11都市でホールツアーを開催。その後のコロナ禍もなんとか乗り越えることができ、2022年には北九州市成人式のイメージソング、cross FMにて池端克章のfeel like music!の新番組がスタートするなど、地元北九州での活動をメインに全国へと活動の場を広げています。

多くの方から、「なぜ東京に行かないのか？」と言われる。

しかし、私は北九州に拠点を置き活動する意味は大いにあると考えています。北九州の音楽シーンやその可能性、私が体験した感動ストーリーなど、心を込めてお話させていただきます。

